

新庁舎西棟建設調査特別委員会記録

令和2年3月6日(金)午後4時05分～午後5時37分(908会議室)

○出席委員(11名)

委員長	後藤 善次	副委員長	阿部 亨
委員	佐原 真紀	委員	二階堂利枝
委員	萩原 太郎	委員	鈴木 正実
委員	羽田 房男	委員	高木 克尚
委員	小松 良行	委員	村山 国子
委員	真田 広志		

○欠席委員(なし)

○議題

1. 委員長報告について
2. その他

午後4時05分 開 議

(後藤善次委員長) ただいまから新庁舎西棟建設調査特別委員会を開催いたします。

前回お示いたしました委員長報告案を基に、皆様から頂戴いたしましたご意見を踏まえて、正副委員長手元で委員長報告の案を修正させていただきました。お手元に修正後の案をお配りしておりますので、御覧いただきたいと思います。

まず、主な修正内容につきましては、前回、高木委員、萩原委員、そして村山委員から全体的な構成について、あるいは要点を整理したほうがいいのではないのかというようなご提言も頂きました。そんなところを見直しさせていただきました。

また、鈴木委員のほうからは、市への提言については西棟全体のことであるという表現としております。

次に、2ページの7行目からになります。真田委員、小松委員からご意見を頂きました公共施設等総合管理計画の年間101.7億円不足するという表現を削除いたしまして、本市の公共施設も老朽化が進んで、再編整備が喫緊の課題であるという内容に変更させていただいております。

また、同じく2ページの17行目からは、西棟建設が議会棟ではなく、市民棟としての新しい西棟として動き出している旨の内容を追加しております。皆さんから頂いた、なぜ今この時期に西棟を建設するのかというようなところに若干触れさせていただきました。

次に、4ページの9行目になりますけれども、羽田委員のほうからご意見がありました人口ビジョ

ンの推計人口につきましては、何も対策を講じなければという説明を追加させていただいております。

その他、構成の流れに合わせて表現等を修正させていただいておりますので、ご確認をいただきたいと思います。

主な変更点でございますけれども、構成を含めて前回からの変更点が多くなっております。再度黙読をいただきまして、その後、皆さんからご意見を頂きたいと思います。六、七分、黙読の時間を取りたいと思います。

【資料黙読】

(後藤善次委員長) 大体よろしいですか。

では、皆さんのほうからご意見お願いいたします。

(高木克尚委員) すみません。確認。2ページの中段、公共施設等総合管理計画、これは国の指針、義務政策ではないのだけ。地方自治体独自といえば独自のだけれども、国の指針でこれは義務づけられ……

(後藤善次委員長) 指針ですよ。それを基に各自治体が……

(高木克尚委員) これは、各自治体がつくらなければならなかったのですか。

(後藤善次委員長) 国からの要請はありました。

(高木克尚委員) 全ての自治体が策定しなければならないということにはなっていたのですよね。

(後藤善次委員長) そうだったと思います。それを基につくった形。

(高木克尚委員) 今回の多用途の模索というのは、この管理計画があって、老朽化があって、危険だから、建て替えるのですという導き方も一つにあるなというふうに思いがあるのですが。

(後藤善次委員長) そうすると、それも入れたほうがいいですかね。

(高木克尚委員) どうですかね。

(後藤善次委員長) 国の方針としてこういうものがあつたと。

(高木克尚委員) だから、市民会館みたいに危ないやつはもう待たないなのですということをもうちょっとアピールしたいなという。学習センターしかりですね。7行目に48年とか60年と書かれているから、見えることは見えるのですが。

(後藤善次委員長) 入れるとしては10行目の市が管理するの前かな。

(高木克尚委員) 国の指針に基づきと入れますか。市が管理の前に。

(後藤善次委員長) 方針なのか、指針なのか。国の要請に基づきのほうがいいのかもしいですね。そのほうが分かりやすいね。指針とか方針ではなくて。要請に基づきと。

(羽田房男委員) 4ページの8行目からなのですが、何かしっくりいかないなと思って。議員定数は、何もしなければ2040年には本市の人口が。中にぽこっと入っているので、議員定数で来て、本市の人口が入って、35人だよという。間違いではないのだけれども、あれっ、何これという。

(村山国子委員) 人口減少だけでいいのかな。

(小松良行委員) そう。人口減少だけでいいのではないですか。

(羽田房男委員) 何か私自分で申し上げて、人口ビジョンのパターン1かい、2かいなんていうことを言ったのですけれども、そういう文章になってしまうと、逆に何か、30万に達したとき46人と想定される議員定数は35人が妥当なのですよということを言うのだけれども、その間に、何も講じなければ、人口ビジョンが入ってしまっていて、ですからその組替えをすれば。

(村山国子委員) ちょっとこの文章の中に、何も対策を講じなければというところがちょっと引っかかるよね。

(羽田房男委員) 何か自分で言っていて、それで入ってしまったら逆に変になってしまって、議員定数のところ46人と言って、30万人で46人と言っていて、そしてそれはなぜなのといたら、何も講じない、今度人口ビジョンが入ってきてしまった。そして、35人だよというふうに入ってきて、あれっ、自分で読んだときに、あれっ、何か余計なことを言ってしまったなみたいな。

(村山国子委員) 議員定数については人口減少が推計されているのだから、やっぱり35でしょうという、そういう一応基本的に。

(羽田房男委員) 人口ビジョンで、私が申し上げた、何も対策を講じなければ22万6,000なのだよという、その2行半のくだりがちょっと生かされなくなってしまう。何も講じなければという。人口ビジョンと、そもそも人口イコール議員定数という考え方もあるけれども、社会情勢に合った中で38人から35人に減にしたではないですか。これは、人口が減少したというのではなくて、議員定数の削減の陳情があって、その中で特別委員会をつくって、その中でどうしようということになって、35人でやりましょうということになったので、何かそういうことが頭の中にあると、逆にしっくりこない。

(後藤善次委員長) 何も対策を講じなければという言葉は抜いて、2040年には本市の人口が約22万6,000人まで減少する……

(羽田房男委員) 推計されることなどから。

(後藤善次委員長) などでもいいかな。するとはっきり言い切らないで、減少するなど推定されると。

(羽田房男委員) だから、22万6,000になるか、23万幾つになるか、ビジョン1、2でどうなるのかというのは、将来の2040年を待たないと正確な人口というのは分からないのだけれども、その推計としてこうなるであろうというところなので……

(後藤善次委員長) それとも、今後、本市の人口が減少すると推計されていると、何も数字入れないで入れてしまいますか。

(村山国子委員) そっちのほうがすっきりしていいと思うな。

(高木克尚委員) 推計されていることから、現在のというふうに。社会変化などを見据えはなくてもいいかな。

(後藤善次委員長) 推計されていることから、現在の35名と。すばっといってしまうですか。議員定数については、本市の人口が減少すると予想されることから、現在の35名を基本とした規模でと、整

備することが妥当であること。どうですか。

(羽田房男委員) そうしましょう。数入れないで。

(小松良行委員) 4ページからの委員会の結論として、1つ目に現計画の、あと46名から35名を基本とした規模の施設整備。2つ目には、全員協議会室専用の施設整備は不要となると。こういったことから、市への提言の中には、いわゆるこの規模の、現計画よりも規模は縮小されるのだよという、すべきだというふうなことを申し上げたほうがいいのではないのかな。例えば4行目の新庁舎西棟整備は、議会スペースにおいて、現計画を縮小ではない、何だろうな。いわゆる……

(後藤善次委員長) それは議会部分でなくて、西棟全体に対しても。

(小松良行委員) 議会部分に対して。

(後藤善次委員長) 議会部分に対してね。

(小松良行委員) はい。

(後藤善次委員長) でも、おのずとそうになってしまうのではないですか。35名になったことで、議場もそれに応じて小さくなるという意味合いですよ。

(小松良行委員) 当然そうなのです。

(後藤善次委員長) 委員会室も、あと全協室については選択ですよというようなことで。

(小松良行委員) 結論はそうになってきて、市への提言部分に何かその部分が見えてこないような気がしただけですけども。市への提言の部分に。

(後藤善次委員長) 結論のところは諸元なのです。それで、提言は提言なのです。

(小松良行委員) なるほど。

(後藤善次委員長) 諸元は求められているところではその3つであろうということで、諸元として。提言としては、ライフサイクルコスト大事だから、きちんと市民に納得していただけるものを造ってくださいねということを提言としたと。

(小松良行委員) 分かりました。一番この肝のところだけここに入れるのではなくて、そうではなくて、こういう区分けとして、諸元であり、市への提言であるというような流れであれば大丈夫です。いいと思います。

(後藤善次委員長) 議会側の思いとしては、これは許容範囲ですよということで、きちんと諸元として基準を明確にしたということですかね。

(小松良行委員) 了解。

(後藤善次委員長) ちょっと確認なのですけれども、4ページのさっきいろいろと協議してもらった9行目、10行目、11行目のところ、今は22万6,000人という数字を出しているのはここだけなのですよね。この数字を削除して、単純に将来人口は減少するからというところで35人に結びつけてしまっているのかどうかというところ。要するに30万人だから、46人という人口に対する46という根拠があったのですけれども、35に対する根拠がなくなってしまうのですよね。22万6,000人という言葉を削って

しまうと。突然35人と出てくることになってしまうのです。人口減少という言葉で。だから、この22万6,000人というのは、一つの目安として残さなくていいのかな。

(真田広志委員) であつたら、何も対策を講じなければというよりは、いわゆる国立社会保障・人口問題研究所の推計手法によると22万6,000人まで減少されるという、その事実というか、推計は出ているわけだから、それをそのまま使ってしまうていいのではないですか。何も対策を講じなければと言うから、何となくおかしくなっていくのであって、人口問題研究所の推計手法によると22万6,000人まで減少すると推計されるがという、そのまま入れてしまつていいのかなという感じがしたのだけでも。

(後藤善次委員長) いかがでしょうか。ほかの方ご意見どうですか。

(真田広志委員) そうしないと、何でこれ35名を基本としているのという話になる。その対策を講じなければというところを入れないで、それは何を根拠になのといつたら、社会保障・人口問題研究所の推計によるとというふうにすれば何も問題はないのではないのかな。

(後藤善次委員長) では、ここに根拠は残すことにしていいですか。

(高木克尚委員) でも、これ現在の35つて我々市議会議員が身を削つて絞り出した人数だから、法的な根拠はないのだよね。

(後藤善次委員長) では、一つの目安として、22万6,000人という数字は残しておきますか。

(羽田房男委員) すみません。何も対策を講じなければというところを削除してください。

(後藤善次委員長) では、そこにその数字の根拠を簡単に明記して。今の内容でご理解いただけましたか。では、それでいきましょうか。

では、暫時休議をいたしまして、修正します。

午後4時36分 休 憩

午後5時35分 再 開

(後藤善次委員長) 委員会を再開いたします。

お手元の資料を御覧いただきたいと思います。

まずは、修正前のページが2ページの7行目からの件は、今お配りした2ページの3行目からになります。本市において、市民会館は築48年、中央学習センターは築60年が経過し、中央学習センターと同時期に建てられた公会堂は休館となるなど、公共施設の老朽化が進み、耐震性などの安全面や市民サービス維持のため、その再編整備は喫緊の課題となっております。そのような中、国から平成26年に公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針が通知され、平成29年2月、市が管理、所管する全てのインフラの行動計画及び個別施設計画である公共施設等総合管理計画を策定し、施設ごとの対策と実施時期についての個別計画の策定を進めておりますというような内容になりました。

それから、前の資料の4ページの8行目からですが、新しい資料は次のページ、3ページの23行目

からになります。1つ目は、現計画において将来人口30万人に到達した際の上限である46名と想定されている議員定数については、国立社会保障・人口問題研究所の推計手法に準拠すると、2040年には本市の人口が約22万6,000人まで減少すると推計されている社会変化などを見据え、現在の35名を基本とした規模での施設整備とすることが妥当であることというように修正をさせていただきました。

よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(後藤善次委員長) それでは、会派のほうにお持ち帰りいただく分も一緒にお持ちいただいて、次回は13日になりますけれども、そのときまでに、できればその前に頂けると助かります。来週、その前に頂ければ、13日の日に修正をしてお渡しするようなこともできると思いますが。そんなことで、お持ち帰りいただきたいと思います。

ただいまの委員長報告(案)につきましては、各会派内での調整をお願いいたします。

そういたしまして、次回の委員会において会派内調整の結果を各会派ごとにご報告いただくことでよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(後藤善次委員長) それでは、そのようにさせていただきます。

正副委員長からは以上でございます。

皆様から何かございますでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(後藤善次委員長) 以上で本日の新庁舎西棟建設調査特別委員会を閉会いたします。

午後5時37分 散 会

新庁舎西棟建設調査特別委員長

後藤 善次